



Twitter 開設中！

@jtsue_yamanashi

2023.3.9 No.29

山梨支部 第3回定期委員会 委員会宣言

委員会宣言(案)

JR東日本輸送サービス労働組合山梨支部は本日、山梨県立図書館にて第3回定期委員会を開催した。安全で不安なく働きがいがある甲府統括センターを目指し、組織を破壊する様々な不当労働行為の根絶を全ての仲間と確認した。ダイヤ改正後、労働環境が大きく変わる(変革)生産性向上、効率化)組合員、未加入者も含め職場では多くの人達が不安を抱えている。昨年度、実施された営統セ設立の際も様々な問題があり、各職場は不安を抱えながらの始動となった。形式的にはセンター化されたがその現状は・・・お客さまの命を預かる運転業務の社員は不安定な土台の上でどのように私たちやお客さまの命を守るのか？物が言える組織であるから現場の意見、不安を団体交渉にて説明をしていく！交渉を行わなければ現場の生の声は届かない。職場では「何でも聞くから言ってくれ」と言うが管理者がその場で判断して回答できるものはあるのだろうか？交渉で現行、回答してくる部分は少ないが、その交渉が無くなったらどうなるのか・・・今後も引き続き交渉を行い、全組合員で少しでも働きやすい環境を創って行く。

止まらない物価上昇で私達の生活は困窮している。昨年度、実施されなかったベースアップ、そして、忘れてはいけない2021年の昇給係数「2」カット！労働力は安く抑えられ労働密度は濃くなり実質賃金は低下の一途である。このような状況の中2023年賃金引上げは「昇給係数『4』の完全実施」「全社員一律3,000円+基本給に対し全社員定率4% (定期昇給を含まない)」「エルダー社員基本賃金一律15,000円ベースアップ」の要求満額の実施を勝ち取っていく。

わたしたち輸送サービス労組は人として当たり前を声をあげ、活動していく労働組合だからこそ会社からの不当労働行為は止まらない。今後のキャリア、昇進試験、ジョブ等の心が動くような部分に触れ、組合を悪として様々な手を使って不当労働行為を行ってくる。八王子地本はこれまで行って来た不当労働行為に対して2023年1月18日東京都労働委員会に「救済申立て」を行い受理された！最終的には効率的、生産性が高く物の言えない職場をめざしているが、そのような職場から仕事に対する働きがい、家庭・プライベートとの両立が実現するのか・・・働き手のいない今、AIなどの活用、多くの業務の統合等と言うが余りにも時間軸が早すぎ、変わってはいけない物は何か？精査されていない形となってしまっている。鉄道業はまだまだ経験職の部分が多く、安全・安心を提供できる土台をしっかりと築き上げていかないといけない。その為にも「組織への不当介入・不当労働行為」を撲滅し、人を大切にするJR東日本をつくり出すためにたたかい抜く。

人口減少、少子高齢化、コロナ禍により地域交通は岐路に立たされている。赤字ローカル線は36路線72区間に及び鉄道の廃止を含む転換を当社は目論んでいる。調査をして地域の方々からは鉄道を必要としている想いを切に感じた。会社が押し進める『変革2027』は企業利益を優先し、人を置き去りにした施策である。地域に愛される鉄道と二度と雇用不安のない安心して働ける環境をつくり出すために「調査行動」を全組合員で進めよう。関係する議員や諸団体との連携を強化し、4月の統一地方選挙は推薦、支持する議員の全員当選を実現し共に創り出して行く。

コロナ禍により生活形態が大きく変わり、人との繋がりが薄れている。様々なコミュニティを活用して、個にならずに全ての仲間とともに結集して『笑顔』『明るく』『元気に』安心して働ける職場を目指し、全組合員でたたかい抜こう！

以上宣言する。

2023年3月8日
JR東日本輸送サービス労働組合
八王子地方本部 山梨支部
第3回定期委員会

満場一致で採択!!



様々な問題解決に向けて、全ての仲間とともに

行動しよう！

